

2015年1月14日

学習まんが「大研究！化学せんいのちから」について

日本化学繊維協会

日本化学繊維協会と一般財団法人カケンテストセンターが制作に協力した講談社発行の「まんが社会見学シリーズ 大研究！化学せんいのちから」が刊行されました。本冊子は、未来を担う子供たちに化学せんいの先端性について理解を深めてもらうことを目的とし、全国の小学校(約21,000校)および公立図書館(約3,150館)に寄贈されています。

さる12月22日、同冊子の贈呈を東京都中央区立常盤小学校にて行いました。贈呈式は小学校の全校朝会で行われ、齋藤優校長による学習まんがのご紹介の後、上田英志化繊協会副会長から化学せんいについての説明をおこない、児童代表に贈呈しました。

この他、児童たちに実際に化学せんいの面白さを体験してもらうため、炭素繊維複合材料の板と鉄の板の重さ比べや、超撥水生地に水をかけてみるなどデモンストレーションも行いました。



●学習まんが「大研究！化学せんいのちから」

目次

第 1 章「化学せんいって何だろう？」

第 2 章「暮らしのなかの化学せんい」

第 3 章「化学せんいの歴史を知ろう！」

第 4 章「化学せんいはこうやってできる！」

第 5 章「これからの化学せんい」

あらすじ

小学 5 年生の健太たちはサッカークラブの試合で新しいユニフォームの試着を頼まれる。見た目にそれほど違いがないにもかかわらず、試合中の着用感が全く異なることに驚く健太たち。それが素材の違いによるものと教えられ、化学せんいに興味を持つようになった健太たちは、試着を依頼した化学せんいメーカー社員からエコグッズ展へと誘われた。

エコグッズ展の日本化学繊維協会ブースで、化学せんいが衣料品や日用品だけでなく、自動車や航空機、また環境保全など様々な場面で使用されていることを知る健太。化学せんいへの関心がより深まった健太たちは化学せんい工場を見学することに。そこで化学せんいの歴史とともに、現在の先端繊維素材分野では日本が世界をリードしていることを学ぶ。さらに工場で作られた化学せんいが製品となって自分たちの手に届くまでに第三者の試験機関である化学せんい製品テストセンターの厳しい試験を経ることで、消費者の安心・安全につながっていることを教わる。工場見学を終えた健太たちは、化学せんいに最先端の技術がつかわれていること、そして同時に地球のこれからのを支える大切な素材だという事を実感する。

見学から戻った健太たちは「未来の化学せんい」についてレポートをまとめた。そこでは地球の未来を支えるこれからの化学せんいが子供ならではの新鮮で斬新なアイデアで紹介される。

以上